児島湖の輝き 玉野市立八浜中学校

平成３０年１０月３０日
第１４号
発　行　　石田　一美

全員チャレンジ！
3年生・必見

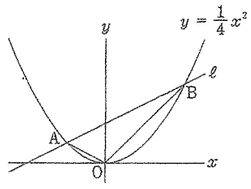
この問題は、昨年の岡山県公立高等学校の入試問題です。その中でも、○を付けた問題の正答率が低かったそうです。

3　次の図のように，関数 $y=\frac{1}{4}x^2$ のグラフ上に２点Ａ，Ｂがあり，点Ａの x 座標は -2，点Ｂの y 座標は４である。ただし，点Ｂの x 座標は正とする。また，２点Ａ，Ｂを通る直線を ℓ とする。原点Ｏと点Ａ，Ｂとをそれぞれ結ぶ。①～③の［　　］に適当な数または式を書き入れなさい。④は指示に従って答えなさい。

① 点Ａの座標は（-2，［(1)］）であり，点Ｂの座標は（［(2)］，４）である。

② 直線 ℓ の式は $y=$［　　］である。

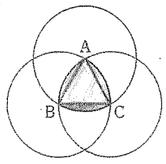
③ 線分ＡＢの長さは［　　］である。



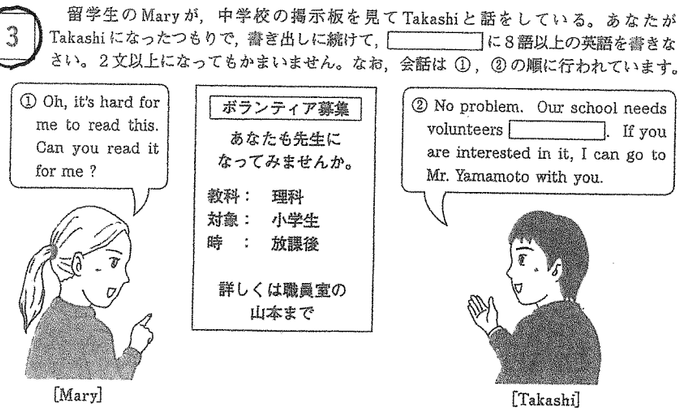
④ 点Ｏと直線 ℓ との距離は，次のように求めることができる。［(1)］には適当な数を書き入れなさい。また，［(2)］には点Ｏと直線 ℓ との距離を求めなさい。ただし，［(2)］は答えを求めるまでの過程も書きなさい。

点Ｏから直線 ℓ に垂線ＯＨをひくと，線分ＯＨの長さが，点Ｏと直線 ℓ との距離である。△ＯＡＢの面積は［(1)］だから，△ＯＡＢについて，
［(2)］

⑧ 次の図のような，１辺の長さが１cmの正三角形ＡＢＣと，各頂点を中心とする半径１cmの円がある。このとき，弧ＡＢ，弧ＢＣ，弧ＣＡで囲まれた色がついた図形の周の長さを求めなさい。



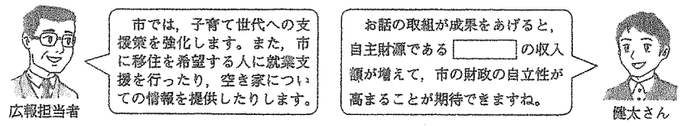
3　留学生のMaryが，中学校の掲示板を見てTakashiと話をしている。あなたがTakashiになったつもりで，書き出しに続けて，［　　］に８語以上の英語を書きなさい。２文以上になってもかまいません。なお，会話は①，②の順に行われています。



3　Ａ県Ｂ市に住む健太さんは，Ｂ市の活性化に向けた取組を調べるために，まちに出て，さまざまな人に話を聞いた。①～④に答えなさい。

① 健太さんは，Ｂ市役所を訪問した。(1)，(2)に答えなさい。

(1) 次は，市の広報担当者と健太さんの会話である。［　　］に当てはまることばとして最も適当なのは，ア～エのうちではどれですか。一つ答えなさい。



ア　地方税　　イ　地方交付税交付金　　ウ　国庫支出金　　エ　地方債

(2) 右の表は，市役所にあったＢ市に関する資料を健太さんがまとめたものである。表に示す期間に，Ｂ市には大きな変化がみられるが，1999年から2010年ごろにかけて全国各地でもみられたこのような変化は，何が行われたことによるものかを書きなさい。

表

	人口（百人）	面積（km²）	世帯数（世帯）
1990年	472	162	13 889
2000年	473	162	15 527
2010年	856	698	29 741

（総務省統計局 Web ページ等から作成）

② 次は，近所の農家の人から聞いた「農業の六次産業化」について健太さんがまとめたものである。［　　］に当てはまる適当な内容を書きなさい。

「農業の六次産業化」という言葉は初めて聞きました。これは，第一次産業，第二次産業，第三次産業という言葉の中のすべての数字を足す，あるいは掛けると「六」になることから生まれた造語で，農家が第一次産業から第三次産業までのすべてに取り組む経営の多角化のことを指しています。つまり，農家が農作物を育てるだけではなく，農作物を［　　］ことまで行う，ということです。この取組は農家の所得の向上と地域経済の活性化が期待できるため注目を集めています。

1　次の文章は，哲学者の串田孫一（一九一五～二〇〇五）が一九五五年に書いた文章である。これを読んで，①～⑥に答えなさい。

詩人の尾崎喜八さんが，昔，植物学者の牧野富太郎氏をかこむ植物同好会の人々と採集に行かれた時の文章に次のような箇所があります。それは，先生，これは何と申しますかと，次々に訊ねられる時牧野博士はそれをたちどころに説明されることなのですが，続いて次のような文章があります。「先生が日本の植物に対して百の名称を断ぜられるとしても，僕はただ先生の記憶の強大さ，知識の広さに驚くだけである。しかし一人の可憐な小学生が，何か小指の先ほどの植物を探して来て『先生これ何ですか』と訊いた時，『これは松』といいながら，その子の頭へ片手を載せられた時の，あの温顔の美しさを僕は忘れない」

私はこの一節が非常に好きなのです。そこには，知るということ，そのための人間同志に通う暖かいものが感じられます。ただ人間としてこれだけのものは知って置かなければならない，そういう気持で本を読んだり，学校へ通って勉強をする，それも確かに必要なことなのですが，そこで，もし一方は教える他方はそれを教わるという関係だけならば，ⓐそれは全く機械的なものになって，遂には試験のために勉強をするという現象も生まれて，知ることによって快さや喜びが伴って来るような，極く素朴なスガタがあまり見られなくなってしまいました。自分の知らないことでも，もう誰かは必ず知っている，大概のことは本に書いてあると思ってしまって，特に知ろうとしないのです。さまざまの事典と名のつく本が出ることは，それに誤りがない限り実にありがたいことなのですが，これだけ持っていれば必要な時にその知識をそこから引き出せるという考え，これは案外恐ろしいことではないかと思います。

知らされることと，知らされることの違いを考えてみて頂きたいのです。私は，知るということの中には，知りたいという意欲がはっきりしている場合を考えています。これだけのことを知っていないと笑われるとか，現代人としての常識に欠けているといわれそうな，ただその為に知るのであれば，外部からの強制的な力によって知ることを努力しているに過ぎません。そういう人は自分はどうでもよいのです。それでも全くの無関心な状態に比べればいいでしょうけれども，しかしそうして知識を得る時には喜びはなくてむしろ苦しみがあるばかりだと思います。それよりももっと恐ろしいことは，知っている振りをするために，なるべく苦労の少い手段を選んで，知った振りをするのに必要な知識だけを用意して置こうという態度です。私の知っている若い方々の中には，話をしていると実に博識だと思われる人がいます。文学についても，美術や演芸その他の芸術についても，政治についても国際情勢についても実によく知っているように見えるのです。そして知っているだけでなしに，それらに対してⓑヒヒョウもしますし，またそれに対する自分の立場もあるらしく見受けられるので，話をきいていますと，私などは少し恐ろしくなって来ます。けれども少しこちらが意地悪く訊ねかえしてみるとか，もう少し詳しい説明を求めたりしますと，ところどころあやしいことが出て来ます。つまり，それらの沢山の知識の大部分はいわば借物だったのです。知識だけでなく，それらの人の使う言葉の多くが借物だったのです。それは特に学術的な用語，あるいは哲学用語といえるような単語の場合，目立って感じられます。この ⓒ知識の借物ということはなかなか魅力のあることでもありまして，はでな衣裳を着て自分を飾ることと少しも変りありません。しかしそれは，至極便利なダイジェスト式の本が出ていますと，比較的時間もお金もかからずに出来ることで，これもまた，悪く利用しますとかなり危険なものだといえます。この借物の知識でも自分の身を飾る魅力というのは，恐らく人間の心の中に根強く巣を造っている自尊心，虚栄の心によるものと思われます。ブレーズ・パスカルがこの虚栄心についていった有名な言葉をここに引かせて頂くことにします。

「虚栄は人間の心に深く喰い込んでいるもので，兵士も従卒も料理人も，それぞれ自慢して自分の崇拝者を得ようとする。哲学者さえ同じことを望む。栄誉を否定する論者も，よく論じたという栄誉は得たいと願う。またそれを読む人も，それを読んだという栄誉を得ようとする。そして，これを書いている私も，恐らく同じ欲望を持っているだろう。また恐らくこれを読む人も……」

虚栄のための知識，あるいは自分の身を飾るための知識は，いざとなったら何の役にも立たないということをここで思い切って申しあげまして，本当に知りたいと思うことを改めて考えて頂きたいのであります。大きなことでも小さなことでも，ⓓ具体的な現実の問題でも，ⓔ抽象的なことでもそれは構いません。もしそういうことがあって真剣にそれを知ろうとして獲得することの出来たものなら，それはたとえ本から得たものでありましょうとも，あるいは幼い子供から教えられたものでありましょうとも，必ず自分のものになって，それが素朴な要求であればこそ喜びを伴い，またそれが今すぐに役に立たないものであるにしても，いつかは必ず，形をかえて自分の成長に役立ったというはっきりした証拠を見せてくれるにちがいありません。

（出典　串田孫一「考えることについて」）

（注）
断ずる――判断を下す。　温顔――優しく穏やかな顔つき。
ダイジェスト――著作物などの内容を要約すること。
ブレーズ・パスカル――フランスの哲学者・数学者・物理学者。
従卒――兵士につき従って身の回りの世話をする者。

① ――の部分ⓐ，ⓑの漢字の読みを書きなさい。また，――の部分ⓒ，ⓕの漢字に直して楷書で書きなさい。

② ⓔ「それは……になって」とあるが，この部分について説明した次の文の［X］，［Y］に入れるのに適当なことばを，［X］は十字，［Y］は三字で，それぞれ文章中から抜き出して書きなさい。
知ることが，［X］によって知識を身に付ける行為になり，人間同志に［Y］ものが通うこともなく，素朴な様子も見られなくなること。

③ ⓓ「知識の……ありまして」とあるが，筆者がこのように述べる理由について説明した次の文の［　　］に入れるのに適当なことばを，四十字以内で書きなさい。
知識を借りてくることによって，［　　］ことができるから。

④ ⓔ「具体」と「抽象」の意味における関係と同じ関係にある語の組み合わせは，ア～オのうちではどれですか。当てはまるものをすべて答えなさい。
ア　創造　―　模倣　　イ　一般　―　普遍　　ウ　促進　―　抑制
エ　計算　―　勘定　　オ　熱中　―　没頭

⑤ 「知ること」とあるが，これについて説明したものとして最も適当なのは，ア～エのうちではどれですか。文章全体を踏まえて，一つ答えなさい。
ア　「知ること」とは，本や事典を活用して必要な知識とそうでない知識を主体的に取捨選択することであり，還び取った本物の知識は，自我の形成につながるものである。
イ　「知ること」とは，知りたいという意欲をもって真剣に知ろうとすることであり，そこで獲得の喜びを伴って得た真の知識は，自身の成長の助けとなるものである。
ウ　「知ること」とは，教える側と教わる側の交流で知識が伝わることであり，自ら望んで得た知識は，内容にかかわらず，人生に大きな栄誉をもたらすものである。
エ　「知ること」とは，自身の意思とは関係なく，世間の常識や社会的要請を意識して勉強することであり，習得した豊富な知識は，人格を磨くために役立つものである。

⑥ この文章の表現の特色とそのねらいを説明したものとして適当でないのは，ア～エのうちではどれですか。一つ答えなさい。
ア　筆者にとって印象的な文章を提示することで，後に続く主張への理解を深めるきっかけにしようとしている。
イ　筆者が経験した出来事を例示することで，「知ること」に関する問題意識をわかりやすく伝えようとしている。
ウ　学者が残した有名な言葉を引用することで，「知ること」についての自らの見解を補強しようとしている。
エ　対比構造で論点の違いを鮮明にすることで，それぞれの考えの優れた点について言及しようとしている。